

政務活動一覧

議員名：森 雅幹

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
5月11日	鳥取市	県議会控室		会派民主 総会	5-2
5月12日 ～13日	新宿区戸塚町 1-104	大隈記念講堂	ローカル・マ ニフェスト推 進連盟	全国地方議会サミット 2022	5-3, 5-4, 5-5
5月19日 20日	千代田区一ツ 橋 2-1-2	一ツ橋講堂	日本自治創造 学会	2022年度日本自治創造 学会 研究大会	5-6～5-10
7月23日	神奈川県川崎 市川崎区駅前 本町 11-2	KCCI ホール (川 崎フロンティア ビル)	第18回全国地 方議員交流研 修会実行委員 会	第18回全国地方議員交 流研修会	7-2, 7-6, 7-7, 7-8
9月5日	鳥取市	県議会控室	執行部	政調政審	9-1
9月10日	大山町大山 145-2	中の原スキーセ ンター		第39回鳥取県夏季農業 講座	9-2
10月9日 10日	札幌市中央区 南1条西 22 丁目 1番 1	北翔大学札幌円 山キャンパス	美術による学 び研究会	美術による学び研究会 in 北海道	10-3～10-5
10月25日	鳥取市鹿野町	鳥の劇場	鳥の劇場	鳥根県議会との合同研修 会	10-12, 10-13 233-7
11月8日	千代田区永田 町 2-2-1	衆院第1議員会 館B1階大会議室		中国横断自動車道岡山米 子線整備促進総決起大会	11-3
11月15日	所沢市 向陽町 2 1 2 4	所沢市立向陽中 学校	向陽中学校長 沼田芳行	朝鑑賞について意見交換	11-4～11-8
11月16日	鳥取市	鳥取県立博物館	三澤一実武蔵 野美大教授	朝鑑賞について意見交換	11-9, 11-10
11月25日	鳥取市	鳥取市役所	鳥取市教育長 尾室高志	朝鑑賞について意見交換	11-13
12月26日	世田谷区深沢 7丁目 1-1	日本体育大学	教授奥村高明	美術ラーニングセンター 意見交換	12-8～12-13
12月26日 27日	札幌市厚別区 厚別中央 2	ホテルエミシア 札幌	北翔大学元教 授 山崎正明	美術ラーニングセンター 意見交換	
1月27日	鳥取市	鳥取県議会	執行部	政調政審	231-4, 5
2月8日	千代田区	参議院議員会館	藤井一博議員	教育について意見交換	232-2, 3, 4
2月8日	千代田区	衆議院議員会館	湯原俊二議員	教育について意見交換	
2月8日	千代田区市谷	自治総研	本田大祐局長	地方自治・意見交換	
2月9日	千代田区平河 町 2丁目 7-4	砂防会館	自治総研	地方財政セミナー	

・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。

・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	全国地方議会サミット 2022
活動年月日	2022年5月12～13日
場所	早稲田大学大隈記念講堂 東京都新宿区戸塚町 1-104
活動の相手方	ローカル・マニフェスト推進連盟
活動の目的	地方議会サミットに参加し、委員会のオンライン開催、議会の多様性の確保など、先進事例紹介を受け、鳥取県政、議会運営に資する。
活動の内容	<p>主催：ローカル・マニフェスト推進連盟、マニフェスト大賞実行委員会 共催：早稲田大学マニフェスト研究所 後援：全国市議会議長会、全国町村議会議長会</p> <p>●1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治 北川 正恭 早稲田大学名誉教授/元三重県知事 ○一人一人の多様な幸せを実現する デジタル庁のミッション 牧島 かれん デジタル大臣 ○住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会 江藤 俊昭 大正大学社会共生学部教授 寺沢 さゆり 長野県長野市議会 議長/全国市議会議長会 副会長 伊波 篤 沖縄県読谷村議会 議長/全国町村議会議長会 理事 ○各地からオンライン登壇も！オンライン議会の展開事例実践紹介 千葉 茂明 月刊「ガバナンス」編集主幹/コーディネーター パネラー 地方議会代表5人 ○多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ 土山希美枝 法政大学法学部教授/コーディネーター パネラー 地方議会代表2人 <p>●2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ2年の経験をどう活かしていくか!? 廣瀬 克哉 法政大学総長 ○方議会における男女共同参画の推進と実践 林 紀行 日本大学法学部教授/コーディネーター パネラー 地方議会代表3人 ○速報！議会改革度調査ランキングとトレンド 中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 ○Z世代にも届く！ デジタルを活用した広報・広聴 古井 康介 株式会社 POTETO Media 代表 小林 真子 ZEXT 代表吉永 一輝 ZEXT 副代表 ○いまこそ問われる！ 地方自治と議会の役割 片山 善博 大正大学社会共生学部 教授/元総務大臣 ○サミット宣言・クロージングサミット宣言・クロージング <p style="text-align: right;">に参加した。</p>
活動の結果等	<p>コロナ禍の中で今日的な地方議会の抱える課題について理解を深めた。多様な意見集約から政策反映へと進めていく道筋について学習した。鳥取県議会運営に生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	5-3, 4, 5

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	2022年度日本自治創造学会 研究大会
活動年月日	2022年5月19～20日
場所	一ツ橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
活動の相手方	財団法人 日本自治創造学会
活動の目的	研究大会に参加し、今日的な行財政政課題に対し理解を深める。
活動の内容	<p>■第1日目：5月19日（木）</p> <p>○大会挨拶穂坂 邦夫（日本自治創造学会理事長）</p> <p>○講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本のデジタル政策」 牧島 かれん（デジタル大臣・行政改革担当大臣内閣府特命担当大臣（規制改革）） ・「人口減少・成熟社会のデザイン」 広井 良典（京都大学こころの未来研究センター教授） ・「地域活性化に資する経済産業省の取組について」 多田 明弘（経済産業省事務次官） <p>○《事例発表及びディスカッション》</p> <p>～民間人の活躍で地方活性～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な地域づくりを目指す海士町の取組」 阿部 裕志（株式会社風と土と代表取締役） ・「面白法人カヤックの鎌倉での取組と『まちのコイン』」 柳澤 大輔（株式会社カヤック代表取締役CEO） ・「JK、青春、1,000万円」 若新 雄純（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授） <p>■第2日目：5月20日（金）</p> <p>○講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気な地域をつくるのは、当事者の視点」 山下 剛（朝日新聞ネットワーク報道本部記者） ・「新しい千葉の時代を切り開く」 熊谷 俊人（千葉県知事） <p>○《パネルディスカッション》地方行政のリーダーが語る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「変化への挑戦！～元気な地方を創り出す～」 パネリスト（五十音順） 田中 幹夫（富山県南砺市長） 野口 市太郎（長崎県五島市長） 宮本 和宏（滋賀県守山市長） <p>コーディネーター 牛山 久仁彦（明治大学政治経済学部教授）</p> <p>閉会</p>
活動の結果等	今日的な日本の課題について理解を深めた。急速に進む少子高齢化にどのように向かっていくのか、かすかな光が見えた。鳥取県政に生かしていきたい。
関連領収書番号	5-6～5-10

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	第18回全国地方議員交流研修会
活動年月日	2022年7月23～24日
場所	川崎市商工会館大ホール 神奈川県川崎市川崎区駅前本町 11-2 サンピアンかわさき 川崎市川崎区富士見 2-5-2（
活動の相手方	第18回全国地方議員交流研修会 主催：自主・平和・民主のための広範な国民連合
活動の目的	研修会に参加し、コロナ禍を乗り越え県民の暮らしを守る策を考える。
活動の内容	<p>■1日目：川崎市商工会館大ホール ○記念講演 ～施政権返還50周年を迎えた沖縄からの報告～ 「ウクライナ戦争と東アジアの平和～沖縄・地方自治体を平和のハブに～」 羽場久美子 青山学院大学名誉教授</p> <p>■2日目：サンピアンかわさき ○第一分科会 日本農業と食を守るために 助言者：鈴木宣弘（東京大学大学院教授） 「農業振興こそ安全保障の要—生産消費を結ぶ架け橋の強化と抜本的農業予算再編に向けて」</p> <p>○全体会 「生活困難をかかえる地域住民のために」 助言者：瀬戸大作（㈱半貧困ネットワーク事務局長） 新型コロナ災害緊急アクションには1200名以上の切実な相談が寄せられた。リアルな実践に基づく報告により全国に共通する課題を明らかにする。</p>
活動の結果等	ロシアのウクライナ侵攻で、食糧安保が非常に重要となってきた。いかに国内生産をしていくのか、燃料・肥料は大丈夫か。非常に大きな問題を突き付けられた。 鳥取県政に生かしていきたい。
関連領収書番号	7-2, 6, 7, 8

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	美術による学び研究会 in 北海道
活動年月日	2022年10月9～10日
場 所	北翔大学札幌円山キャンパス 札幌市中央区南1条西22丁目1番1
活動の相手方	美術による学び研究会
活動の目的	研究会に参加し、県立美術館の役割や設置予定のA.L.L（アートルーニングラボ）の具体化を探る。
活動の内容	<p>■1日目</p> <p>○ミニ講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「NHK 高校講座「芸術（美術）」の制作裏話」 上野行一 美術による学び研究会代表 <p>○実践発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の現状と課題、そして、これから 更科結希（北海道教育大学附属釧路義務教育学校） ・メッセージスタンプをとおして考えるデザインの授業 阿部 永（北海道教育大学附属札幌中学校） ・高校美術の現場から 野村幸伸（札幌東陵高校） ・高専における教科横断の取り組み 下部啓夫（函館高専） ・変貌する町・夕張の基礎体温をぐぐっと上げる 山口一樹（夕張市教育委員会） ・免許外で美術の授業を担当して 藤倉 稔（下川中学校（数学科）） ・子どものための芸術教室「アートイズ」が目指すもの 佐貫 巧（八戸学院大学短期大学部准教授） <p>○ミニ講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの美術教育について考えていること 大杉 健（武蔵野大学） <p>■2日目</p> <p>○実践発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校図画工作「光による造形遊び」 三浦真奈美（北海道教育大学附属札幌小学校） ・保育ドキュメンテーションの取り組み 笹山雅司（札幌市立かつこう幼稚園園長） ・生活・ひらめき・創造 中山敦子（大地太陽幼稚園園長） <p>○現地見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地太陽幼稚園 ・札幌芸術の森 <p style="text-align: right;">梅田雅彦美術館整備局長とともに参加した。</p>
活動の結果等	免許外で美術の授業にあたっている教諭の発表が身に染みた。美術教育の重要性を感じた。改めて、対話型鑑賞の意義を再認識するとともに、美術館の教育的役割の重要性を確認した。 是非とも、鳥取県立美術館、美術教育に生かしたい。
関連領収書番号	10-3, 4, 5

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	中国横断自動車道岡山米子線整備促進総決起大会
活動年月日	2022年11月8日
場所	衆院第1議員会館 B1 階大会議室 東京千代田区永田町 2-2-1 都
活動の相手方	中国横断自動車道岡山米子線整備促進期成同盟会
活動の目的	中国横断自動車道岡山米子線整備促進総決起大会に参加し、一日も早い4車線化、境港市までの事業化を促進する。
活動の内容	国土交通省幹部、NEXCO 西日本幹部、地元選出国會議員の出席、知事をはじめ西部市町村長、県議会議長、議員をはじめ県西部市町村議長、議員参加のもと、期成同盟会が開催された。 意見発表、大会決議を通じて、整備促進の必要性、②地元の団結等についてアピールするとともに、要請文を国土交通省、NEXCO 西日本に手渡した。
活動の結果等	一日も早い整備促進に向け努力したい。
関連領収書番号	11-3

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	所沢市立向陽中学校沼田芳行校長との意見交換（朝鑑賞について）
活動年月日	2022年11月15日
場所	所沢市立向陽中学校 所沢市 向陽町2124
活動の相手方	所沢市立向陽中学校沼田芳行校長
活動の目的	朝鑑賞の取組についての意見交換
活動の内容	<p>中学校を訪問し、2025年春開館予定の県立美術館について説明するとともに、沼田校長から、前任校：三ヶ島中学校での朝鑑賞導入の経緯、実践の様子、課題等について説明を受けた後、意見交換した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">沼田芳行校長プロフィール</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 埼玉県中学校社会科教諭 ▶ 所沢市立三ヶ島中学校校長 ▶ 三澤一実武蔵野美術大学教授の勧めで、全国で初めて「朝鑑賞」を取り組む ▶ 所沢市立向陽中学校に転任 </div>
活動の結果等	<p>朝鑑賞の効果を実感するとともに、これまで日本の教育（正解があるものを一方的に教え、同じ考え方に誘導し、ただ記憶することが優先）を根本的に変えることができる可能性を感じた。</p> <p>① 正解はない（正解と思われるものに折り合いをつける） ② 自らの考えを言葉に他者にわかる言葉に変換し伝える ③ 人は見方・考えが皆違う（違う方がいい） ④ 他者の意見と自らの意見とを再構築する 等</p> <p>週一回授業前の10分間の朝鑑賞の実践で、現代社会で必要と思われる以上のことを実践できる力を養うことができると確信した。</p> <p>是が非でも、鳥取県で実践したい。</p>
関連領収書番号	11-4, 5, 6, 7, 8

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	奥村高明（日本体育大学）教授との意見交換（A.L.L、朝鑑賞）
活動年月日	2022年12月26日
場 所	日本体育大学 世田谷区深沢7丁目1-1
活動の相手方	奥村高明（日本体育大学）教授
活動の目的	県立美術館 A.L.L（アートラーニングラボ）の役割、朝鑑賞の取組についての意見交換
活動の内容	<p>1. 我が方から、2025年春開館予定の県立美術館（A.L.Lアートラーニングラボ）の計画、三ヶ島中学での朝鑑賞の実践について関心がある旨説明。</p> <p>2. 奥村教授から、鑑賞教育の重要性、美術館の役割等について説明を受けた。</p> <p>3. 意見交換</p> <p>4. 今後の指導をお願いした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">奥村高明教授プロフィール</p> <p>(ア) 宮崎県小中学校美術教諭 (イ) 宮崎県立美術館で学芸員 (ウ) 文科省教科書調査官 美術の学習指導要領に初めて「鑑賞教育」を取り入れた。 (エ) 日本体育大学児童スポーツ教育学部教授（現職） (オ) 著書多数</p> </div>
活動の結果等	<p>奥村教授の説明・意見交換を通じて、学校・美術館を通じての鑑賞教育の役割・重要性について理解を深めた。</p> <p>「美術館、学校連携が非常に重要であること。鳥取県立美術館 A.L.L が日本で唯一の取組であり、非常に期待が持てる。」との奥村教授の言葉により自信を深めた。</p> <p>鳥取県立美術館 A.L.L の充実、県内小中学校への朝鑑賞導入へ努力したい。</p>
関連領収書番号	12-8, 9, 10, 11, 12, 13

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	山崎正明 元北翔大学教授 との意見交換
活動年月日	2022年12月26・27日
場所	ホテルエミシア札幌 北海道立近代美術館
活動の相手方	山崎正明 北翔大学元教授
活動の目的	県立美術館 A.L.L（アートラーニングラボ）の役割、朝鑑賞の取組についての意見交換 道立近代美術館での対話型鑑賞の実践
活動の内容	<p>1. 我が方から、2025年春開館予定の県立美術館（A.L.Lアートラーニングラボ）の計画、対話による鑑賞、朝鑑賞について関心がある旨説明。</p> <p>2. 山崎元教授から、美術教育の重要性、美術館の役割等について説明を受けた。</p> <p>3. 翌27日道立近代美術館で対話による鑑賞の実践をした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">山崎正明元教授プロフィール</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 北海道石狩管内中学校美術科教諭 32年間 ▶ 北翔大学教育文化学部教育学科教授 8年間 ▶ 美術による学び研究会@北海道管理者 ▶ 中学校の教科書「美術」（光村図書）の編集委員 ▶ 教科存続の危機を感じ2012年より「中学校美術Q&A」という研究会を梶岡さん加藤さんと共に全国各地で18回開催。 ▶ 2018年から札幌文化芸術交流センターSCARTS アートコミュニケーターの鑑賞のファシリテーションをサポート。 ▶ 美術教育実践者として以下の活動をしている。 <ul style="list-style-type: none"> ① 出前授業・出前保育・各種WS ② 講演・実技研修・校内研修・園内研修・子育て講座 ③ 授業づくりのための助言・共同研究 ④ 専科や免許外の先生のためのオンラインサポート ▶ 著書多数 </div>
活動の結果等	山崎元教授からは、「A.L.Lこそは自分（山崎元教授）がやりたかったことだ。大いに期待している。秋の研究会に美術館整備局長も参加されるなど、当局も積極的かどうかがある。「12月議会での教育長とのやり取りも拝見したが、あれが精いっぱい答弁ではないか。きっと素晴らしいものができる。」「また、三澤武蔵野美大教授が指導される、朝鑑賞も非常に重要だ。」等の意見をいただき、意を強くした。今後のA.L.Lの具体化、朝鑑賞導入促進に努めたい。
関連領収書番号	12-8, 9, 10, 11, 12, 13

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	湯原俊二衆議院議員 藤井一博参議院議員 との意見交換
活動年月日	2023年2月8日
場所	衆議院第1議員会館 東京都千代田区永田町2丁目2-1 参議院議員会館 東京都千代田区永田町2丁目1-1
活動の相手方	湯原俊二衆議院議員 藤井一博参議院議員
活動の目的	国会議員との教育について意見交換を通じ日本の教育の進化を求める
活動の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が方から、2025年春開館予定の県立美術館（A.L.Lアートラーニングラボ）の計画、対話による鑑賞、朝鑑賞について、教育機関での対話型鑑賞・朝鑑賞の取組により大きく教育が変わる可能性があることとう説明。 2. 意見交換
活動の結果等	<p>議員側からは、「非常に感銘を受けた。」「最後の県立美術館なので、非常に期待している。快感が楽しみだ。」「対話型鑑賞・朝鑑賞については非常に可能性を感じる、応援したい。」等の発言を得た。</p> <p>県内での導入促進に努めたい。</p>
関連領収書番号	232-2, 3, 4

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	地方自治総合研究所 本田大祐事務局長との意見交換
活動年月日	2023年2月8日
場 所	砂防会館 東京都千代田区平河町2丁目7-4
活動の相手方	地方自治総合研究所
活動の目的	来年度予算や国政の動向、地方自治の動向について情報収集並びに意見交換する
活動の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が方から、一昨年のもとの原発住民投票の結果等を報告 2. 本田事務局長からは、全国的な自治の動向に触れつつ、来年度予算や、国政の動向について説明 3. 意見交換した
活動の結果等	<p>本田事務局長の「エネルギー問題は非常に重要、岸田内閣がロシアのウクライナ侵攻に伴う食糧、燃油の高騰に乗じて原発回帰にかじを切ったのは問題。原爆、原発の被爆国である日本は違う道を取るべきだ。原発再稼働に投資している金額を再エネに投資していたら、日本は世界の再エネの先進国になれたかも。」という言葉が印象的だった。</p> <p>鳥取県政に生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	232-2, 3, 4

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

活動事項	地方財政セミナー
活動年月日	2023年2月9日
場所	砂防会館、東京都千代田区平河町2丁目7-4
活動の相手方	地方自治総合研究所
活動の目的	地方財政セミナーに参加し、来年度予算や国政の動向を探る
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○記念講演 「日本の財政問題を正直に語る」（仮称） 財務省前事務次官 矢野 康治 ○講演 「2023年度地方財政計画の解説と地方議会における課題」 総務省自治財政局 新田 一郎財政課長 ○講演 「飛田式：地方財政分析講座」～基礎編 飛田 博史 地方自治総合研究所研究員
活動の結果等	<p>日本国が抱える借金の異常さについて、前事務次官が非常に問題だと発言するのを初めて聞いた。国と心中しないよう県財政の健全化が非常に大事だと感じた。県財政運営への提言に生かしたい。</p>
関連領収書番号	232-2, 3, 4